

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社  
東京都中央区日本橋本町4-3-8  
担当  
TEL(03)3270-2701  
FAX(03)3270-2720  
緊急連絡 同上  
作成 平成21年12月3日

化学物質等のコード : 1380-8336

化学物質等の名称 : 臭化マンガン( )

2.危険有害性の要約

分類の名称 : 分類基準に該当しない。  
危険性 : 通常の取扱で安定である。  
有害性 : 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑いがる。  
呼吸器の障害がある。  
長期又は反復暴露による呼吸器、神経系の障害がある。  
環境影響 : データなし

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品  
化学名 : 臭化マンガン( )  
成分及び含有量 : 98%  
化学式または構造式 :  $MnBr_2$   
官報公示整理番号(化審法) : 1-112  
CAS No. : 13446-03-2

4.応急処置

目に入った場合 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄し、眼科医の手当を受ける。  
吸入した場合 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。  
口内と鼻腔を水で洗浄し、必要な場合は医師の診断を受ける。  
皮膚にふれた場合 汚染した衣類等は速やかに脱ぎ捨て、触れた部分を水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹸でよく洗い落とし、医師の手当を受ける。  
飲み込んだ場合 水でよく口の中を洗浄する。必要な場合は医師の診断を受ける。

5.火災時の処置

消火方法 本品は不燃性である。  
周辺火災に適した消火剤を使用する。  
消火剤 水、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂など。

6.漏出時の措置

作業の際には保護具を着用し、掃き取る、真空で吸い取るなど、できるだけ粉塵が飛散しない方法で空容器に回収する。この際、風下では作業しない。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い上の注意  
吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用し、できるだけ風上から作業する。  
粉塵を吸入しない。  
局所排気装置のある場所で取り扱う。  
保管上の注意  
75より分解を始めるので、高温雰囲気は避ける。長期間保管すると徐々に酸化され黒変する。酸化性物質により酸化される。その時発熱を伴う。

8.暴露防止及び保護措置

管理濃度 0.2mg/m<sup>3</sup> (マンガン化合物として)  
許容濃度 日本産業衛生学会 0.3mg/m<sup>3</sup> (上限値、マンガン無機化合物として)  
ACGIH TLV-TWA 0.2mg/m<sup>3</sup> (マンガン無機化合物として)

設備対策

・屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化又は局所排気装置を設置する。

保護具

・状況に応じ、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴、有機ガス用防毒マスク、送気マスク、空気呼吸器等を使用する。

---

9.物理的及び化学的性質

外観形状特性 淡紅色～赤色の結晶  
比重 4.38  
融点 -  
沸点 -  
溶解度 水に可溶  
蒸気圧 -  
揮発性 -  
初留点 -  
その他 加熱により分解する。

---

10.安定性及び反応性

可燃性 不燃  
安定性・反応性 通常の条件下では安定。  
その他 酸に溶けてCO<sub>2</sub>を放出し、その酸の塩溶液となる。

---

11.有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

毒性

急性毒性 マンガンとして 吸入 人 毒性濃度 11 mg/m<sup>3</sup>  
亜急性毒性 頭痛等の症状がある。  
慢性毒性 中枢神経障害がある。初めは頭痛、易疲労、不眠、関節や筋の痛み、けいれん等があり、次いで精神的障害をもたらす。又、粉塵吸入による呼吸器障害、いわゆるマンガン肝炎も報告されている。

刺激性(皮膚、眼) : データなし  
感作性 : データなし  
変異原性(微生物、染色体異常): データなし  
皮膚腐蝕性 : データなし  
がん原性 : データなし  
生殖毒性 : データなし  
催奇形性 : データなし

---

12.環境影響情報

分解性 : データなし  
蓄積性 : データなし  
魚毒性 : データなし

---

13.廃棄上の注意

再飛散、地下浸透がない等の廃棄物の処理及び清掃に関する法律の埋立ての技術基準を守り埋め立てる。多量の場合は回収し再利用する。

---

14.輸送上の注意

容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無いように積み込み、荷くずれ防止を確実にを行う。

輸送に関する国際規制

陸上輸送 : 規制なし  
海上輸送 : 規制なし  
航空輸送 : 規制なし  
国連分類 : 非該当  
国連番号 : 非該当

---

15.適用法令

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき有害物 550  
特定化学物質等障害予防規則 第2類物質  
化学物質管理促進法(PRTR法) : 第1種指定化学物質 No. 412  
(改正前PRTR法: 1-311)

消防法 : 非該当  
毒物及び劇物取締法 : 非該当  
船舶安全法(危規則) : 非該当  
航空法 : 非該当

---

16.その他の情報

参考文献

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社  
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000)  
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編  
化学大辞典 共同出版  
安衛法化学物質 化学工業日報社  
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版  
化学物質安全性データブック オーム社  
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版  
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修  
中央労働災害防止協会編

---

このデータは作成の時点における知見によるものですがかならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。